



和合亮一講演会

福島に生きる 福島を生きる

奈良女子大学文学部公開講座

主催 奈良女子大学文学部
共催 佐保会・放送大学奈良学習センター

コメンテーター：柳澤有吾(文学部長 倫理学)
鈴木広光(文学部教授 国語学)

“放射能が降っています。静かな夜です。”

詩集『詩の礫』より

ツイッターを中心に、さまざまな場所で「福島」について語り続ける、福島在住の詩人和合亮一氏をお招きします。詩の朗読も交えながら、震災について、福島について語っていただきます。和合氏の生の「言葉の力」をぜひご体感ください。

和合亮一：1968年福島市生まれの詩人。

震災以降、地震・津波・原子力発電所事故の三重苦に見舞われた福島から、Twitterにて

「詩の礫」と題した連作を発表し続ける。『詩の礫』(徳間書店)『詩の黙礼』(新潮社)

『詩の邂逅』(朝日新聞社)『ふるさとをあきらめない フクシマ、25人の証言』(新潮社)

など著書多数。最新詩集は『廃炉詩篇』(思潮社)。

平成25年7月13日(土) 14時～16時

@奈良女子大学記念館 (近鉄奈良駅より徒歩5分)

入場無料・参加申し込み不要

問い合わせ：文学部係 0742-20-3699 または
和合亮一講演会実行委員会(鈴木康史研究室) kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp